

平成 30 年 1 月 23 日
J A バ ン ク 山 形 県
(農林中央金庫山形支店)
(山形農業協同組合)

農家カフェ出店資金を日本政策金融公庫山形支店と連携して対応

JAバンク山形県は、上山市で観光果樹園を営む株式会社高橋フルーツランドに対し、日本政策金融公庫山形支店と連携して融資対応いたしましたのでお知らせします。

1. 本件概要

会社名	株式会社高橋フルーツランド(代表取締役:高橋真也)
住所	山形県上山市阿弥陀地字塩崎前1368番3
時期	平成29年11月17日オープン
融資額	スーパーL 資金 1,500 万円
内容	
農家カフェ出店にかかる経費について「平成29年度山形県元気な6次産業化応援プロジェクト事業」、日本政策金融公庫「農業経営基盤強化資金(スーパーL 資金)」を活用し、円滑な資金調達をサポートしました。	

2. 経緯

株式会社高橋フルーツランドはサクランボやラフランスといった果物の生産、観光果樹園を営むほかに、農家カフェである「HATAKE Café」を運営し、若者を中心に大人気となっています。今回はJR山形駅のエスパルへの出店となり、かみのやま店(1号店、本店観光果樹園に併設)、みはらしの丘店(2号店)に続き3店舗目となります。

「HATAKE Café」の既存店舗は駅から離れていたため、首都圏からの観光客の取込が課題でした。そこで、果樹王国山形の玄関口であるJR山形駅に出店することで新たな顧客の獲得を目指します。新店舗では自社で生産した果物を使ったソフトクリーム、パフェ、ジュースを販売し観光果樹園、農家カフェとしての地位を確立することで、更なる経営の発展が期待されます。

「HATAKE Café」は3店舗目となりましたが、それぞれ店舗によってメニューが異なります。かみのやま店は生果物をふんだんに使ったパフェが人気であり、3店舗の中で唯一ランチを提供しています。みはらしの丘店は全てテイクアウトとなっており、果物のソフトクリームが人気です。今回のエスパル店では山形県産の果物を使ったジュース、ソフトクリーム、パフェの他に山形県産のヨーグルトを使ったソフトクリームを販売しています。

今回のエスパルへの出店は後継者である高橋利洋専務取締役主導のもと進めてきました。利洋氏によると、「エスパルへの出店は当社の5年後、10年後を見据えています。高校生などの若者に知ってもらうことで、彼らが社会人になったときに新たな顧客になってもらいたい。」とのことでした。

JAバンク山形県は日本政策金融公庫山形支店と今後も相互に連携し、県内の農業を積極的にサポートすることで、地域経済の活性化に努めてまいります。

○今回出店した HATAKE Café JR 山形駅エスパル山形店



以上

【本件に関するお問合せ先】

農林中央金庫 山形支店(次長:加藤、担当:中島) Tel:023-641-6275